

# デジタル情報時代の図書館建築 -その可能性と課題-



2010, Dec. 06  
@首都大学東京  
植松 貞夫 (筑波大学)

# 図書館とは

図書館とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設

図書館法（昭和25年4月30日法律第118号）：1950年 第2条：定義

# 学生の勉強部屋図書館（1960年頃まで）

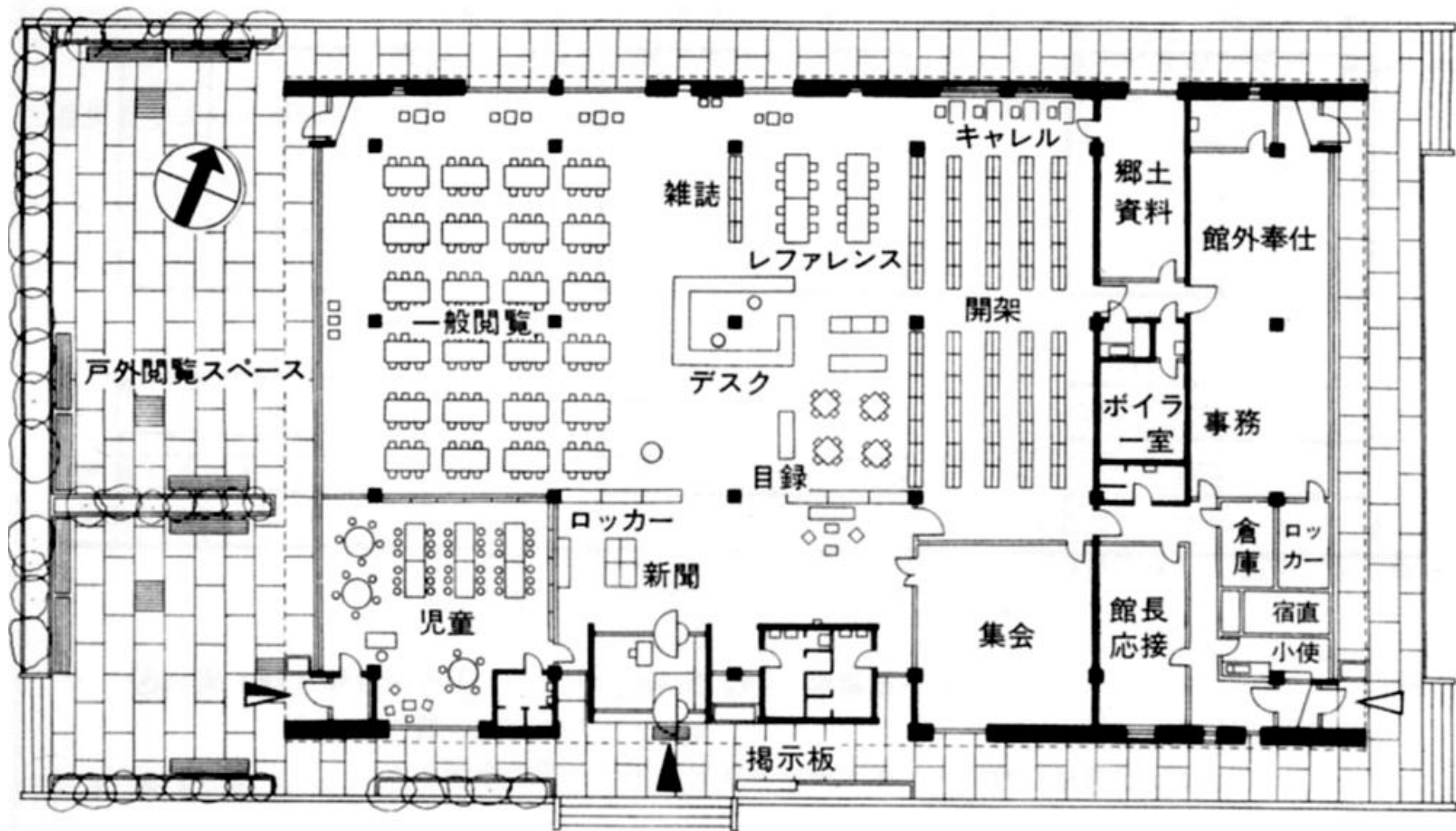
## □ 図書館は特別の人が利用する場所

❖ 1953年（杉並図書館における来館者調査）

4,000人の来館者のうち「無職の主婦」は4人

- ・ 高校生・受験生の「自習」の場
- ・ そのための席や場所の提供が要請される機能
- ・ 閉架式、館内閲覧主体

## □ 公園内など静かな場所に建設する



八戸市立図書館

設計：日本図書館協会施設委員会：1960年

入館手続の廃止、書架の公開  
レファレンス・サービス、集会活動  
館外貸出、館外奉仕

# 貸出型図書館（1960年から80年頃）

## □ 借りて帰って家で読んでもらう図書館

- ❖ 閲覧座席を設けず、自習者を排除

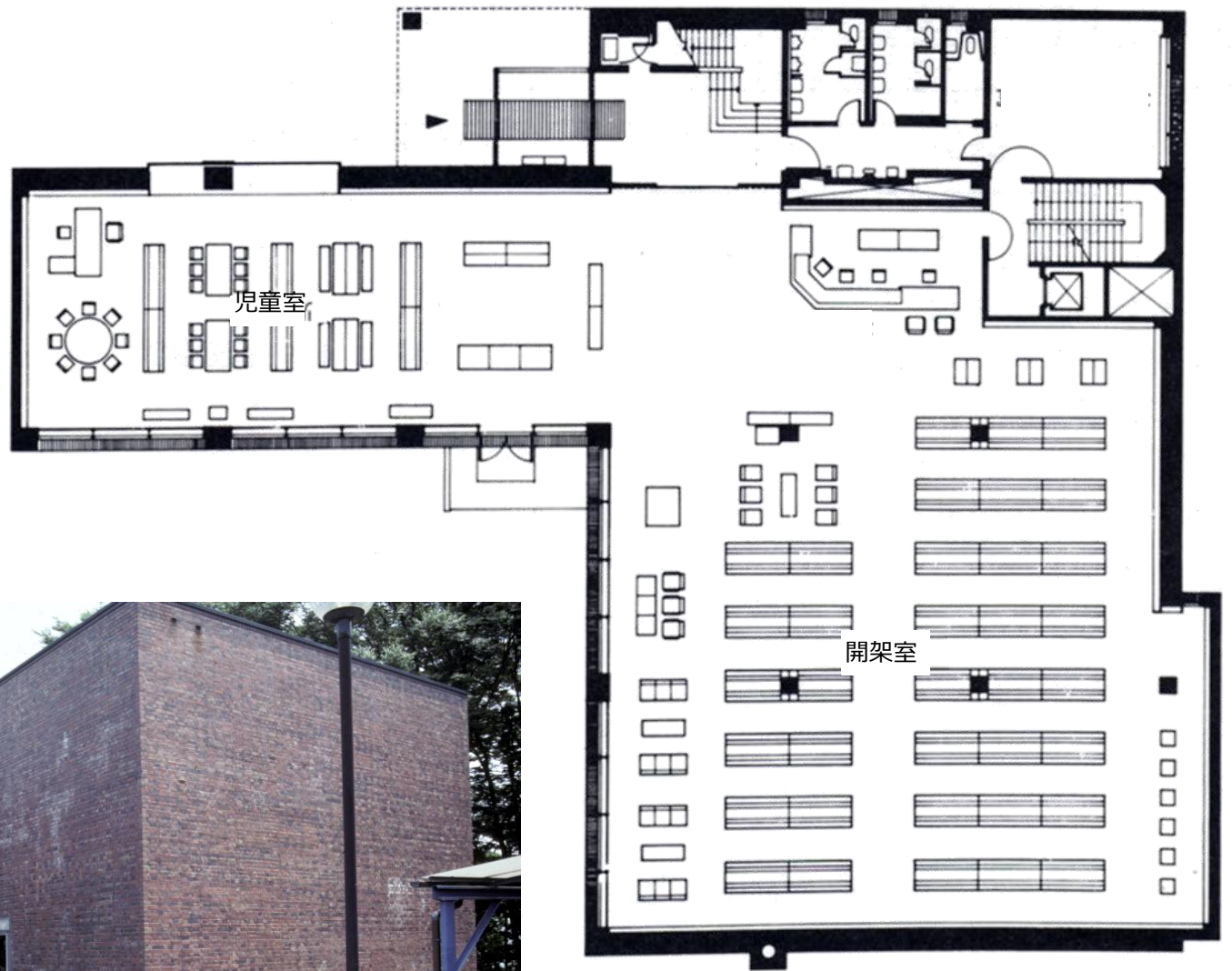
- ❖ 普通の人が日常的に利用する図書館

  - ・ 1971年来館者調査（町田市立図書館）

    - 利用者の主婦と子どもが中心

    - 平均在館時間は20分

## □ 駅前など行きやすく、分かりやすい場所に建設



1階平面図



日野市立中央図書館：  
1973年開館



閲覧机はない



たくさんの図書が開架で





ベンチだけ

# 長時間在館型（1980年代半ばから）

## □ 社会の変化

- ・ 高度経済成長による豊かな社会（自治体財政も豊か）
- ・ 自家用車の普及
- ・ 雑誌・ビデオが急激に増加

## □ 図書館の変化

- ・ コンピュータを用いた業務システムの本格普及
- ・ たくさんの種類と数の図書や雑誌を提供

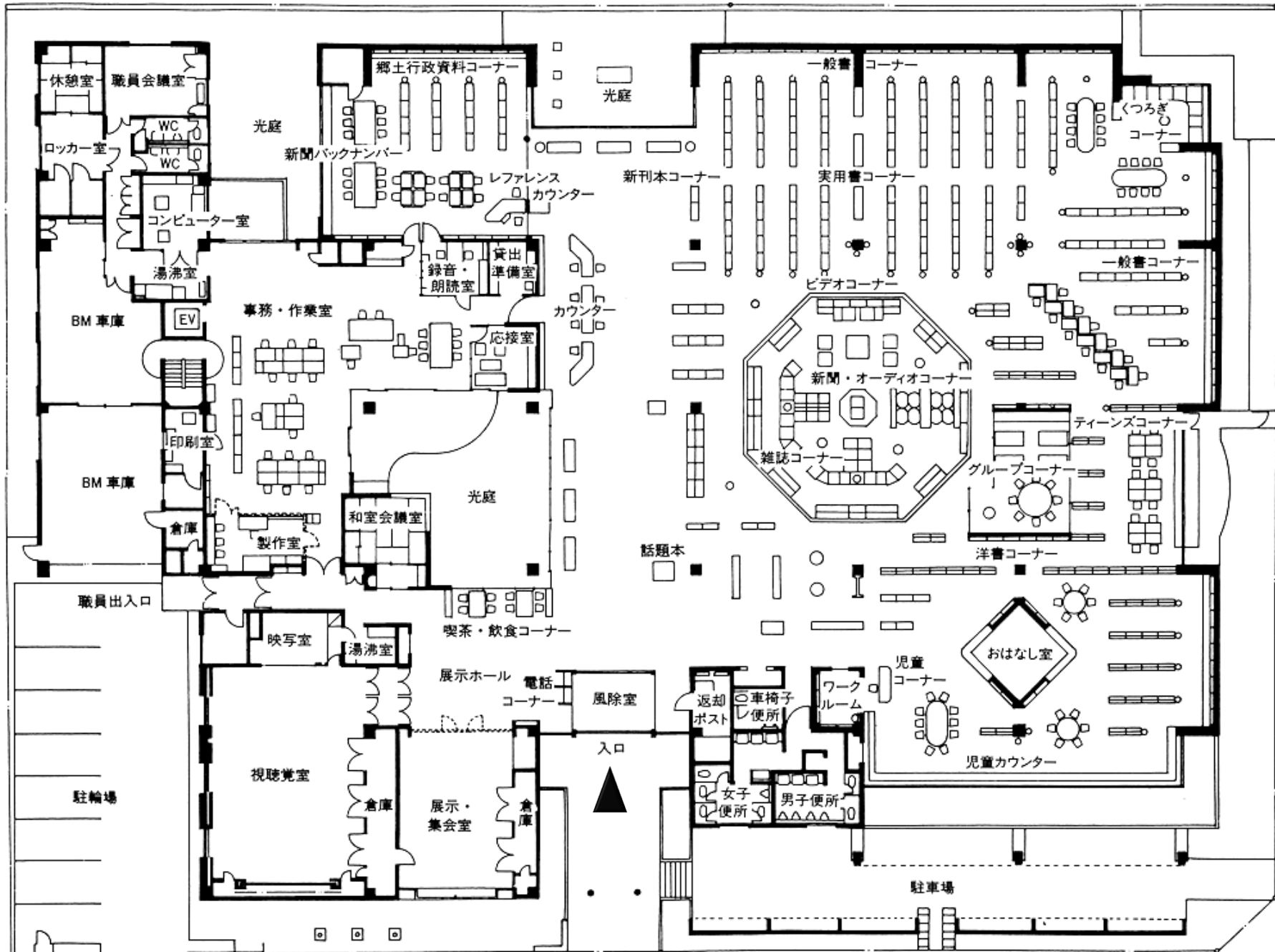
## □ 大きな建物、広い駐車場の得られる場所に建設

# 同時に

- 一つの市や町の中に、複数の図書館
  - 本館と分館
- 複合施設の中の核施設として図書館が入る
  - 複合施設 = 一つの建物の中に数種類の施設
    - ・ 同居施設数が増える  
商業施設との同居例も増加中（さいたま市立中央）
    - ・ 中間階に図書館がある場合の設計は難しい

# 住民の図書館利用行動の変化

- 自家用車で、休日に、家族揃って、大きな図書館へ
  - ❖ 近くに図書館があっても、自家用車で図書館へ
  - ❖ 休日は平日の2倍以上の来館者
  - ❖ 近くに小規模な図書館（分館）があっても遠くの大規模館へ
  - ❖ 中学生・高校生でも「家族同伴」利用
  
- 高齢の男性利用者の増加
  - ❖ 高齢者でも自家用車で来館
  - ❖ 高齢者は平日の利用：棲み分け
  - ❖ 図書館は成人の利用者主体の場



朝霞市立図書館：1987年開館

# 固定観念の払拭

- 図書館は「学生の勉強部屋」：一部の人、特別な人が利用する
- 図書館は「無料貸本屋」：新刊書の貸出に偏重（フロー）
- 図書館は「趣味や娯楽のための施設」
- 図書館は「静かに読書する場」
- 図書館は「あらゆる年齢層の市民の活動の場」
- 図書館は「情報を知識に変える場」：ストック重視
- 図書館は「地域や住民に役立つ施設」
- 図書館は「静かな場とにぎわいの場がある」

# 社会像の変化

(1) 知識社会

(2) 生涯学習社会

(3) 少子・高齢・高学歴社会

→ 誰もが確実な情報を平等に入手できる

社会的仕組みが図書館

## (4) デジタル情報ネットワーク社会 インターネット社会

- 情報コンテンツのマルチメディア化
- 時間と距離を超越した情報のやりとり
- 情報受発信の個人（セルフ）化
- 情報取得能力による格差の解消が課題



# 図書館は絶滅危惧種か

- 図書館は知識伝達・再生産の場 → 媒体が紙の図書 → そのための場所 = 「図書」館がつくられてきた → 電子媒体に転換 → 2000年には「利用者は[図書館に行く必要はもはやなくなっている](#)」（F.W.ランカスター、1982年、「紙からエレクトロニクスへ：図書館・本の行方」）
- （2000年以降）STM（化学・工学・医学）領域の学術雑誌の多くは電子ジャーナル化され、利用者は大学[図書館に行く必要はなくなった](#)。大学図書館では冊子体の購入をやめてきている

□ 「20～30年先には出版されるものの70%以上のものは電子形態のみのもものとなり」（長尾真、1996年、「電子図書館時代へ向けての大規模図書館の未来像」）

□ Google Book Scan

□ 各種電子書籍端末の登場

□ 国立国会図書館デジタルアーカイブ

当館は、デジタル化した資料及び将来電子的に納本される書籍等を著作権者及び出版社の利益に配慮しつつ、国内のどこからでもアクセスできるような仕組みを模索しております。その仕組みの要点は、**公共的な団体に当館のデジタル資料を無償で提供し、当該団体が公衆に有料で配信して、その料金のうちから権利者等に還元する**というものです（2009年）

# これからの図書館、絶滅の前に

## □ 課題解決支援型図書館

### ❖ 情報専門家としての図書館職員

- ・ 専門知識と技術をもつ職員の支援・サービス
  - ・ 印刷物へのアクセスを提供
  - ・ このアクセスを援助すること
  - ・ 電子的資源に対するアクセスの援助

### ❖ 資源配分の見直し

# 来館してもらえる図書館

## □ 頼りになる図書館

- ・利用者支援（職員、資料、機器）サービス
- ・紙媒体（本・雑誌等）と電子媒体の両方にアクセスできる = ハイブリッドライブラリー
- ・特色化、個性化、専門分化

## □ 行きたくなる図書館

- ・入りやすい（入口など）、分かりやすい館内
- ・安全で快適な環境

# ハイブリッド・ライブラリー

- インターネット接続パソコンを備える
- 利用者の持ち込みパソコンが利用できる
- キーボードの音をいやがる人も



- 豊富な印刷資料

















plein  
hern















# ラーニングコモンズ

- 近年、多くの大学図書館で設置が喧伝されるが、実態はパソコンスペースに過ぎない
- 学習・教育・研究のための共有資源（多様な情報資源と情報環境、人的資源）による「知の公共化」を具現した空間
- チュータ（教員・図書館職員・上級生）と学生との相互交流を通じて、両者がそれぞれに主体的な学びの能力を獲得するための空間

# 頼りになる図書館

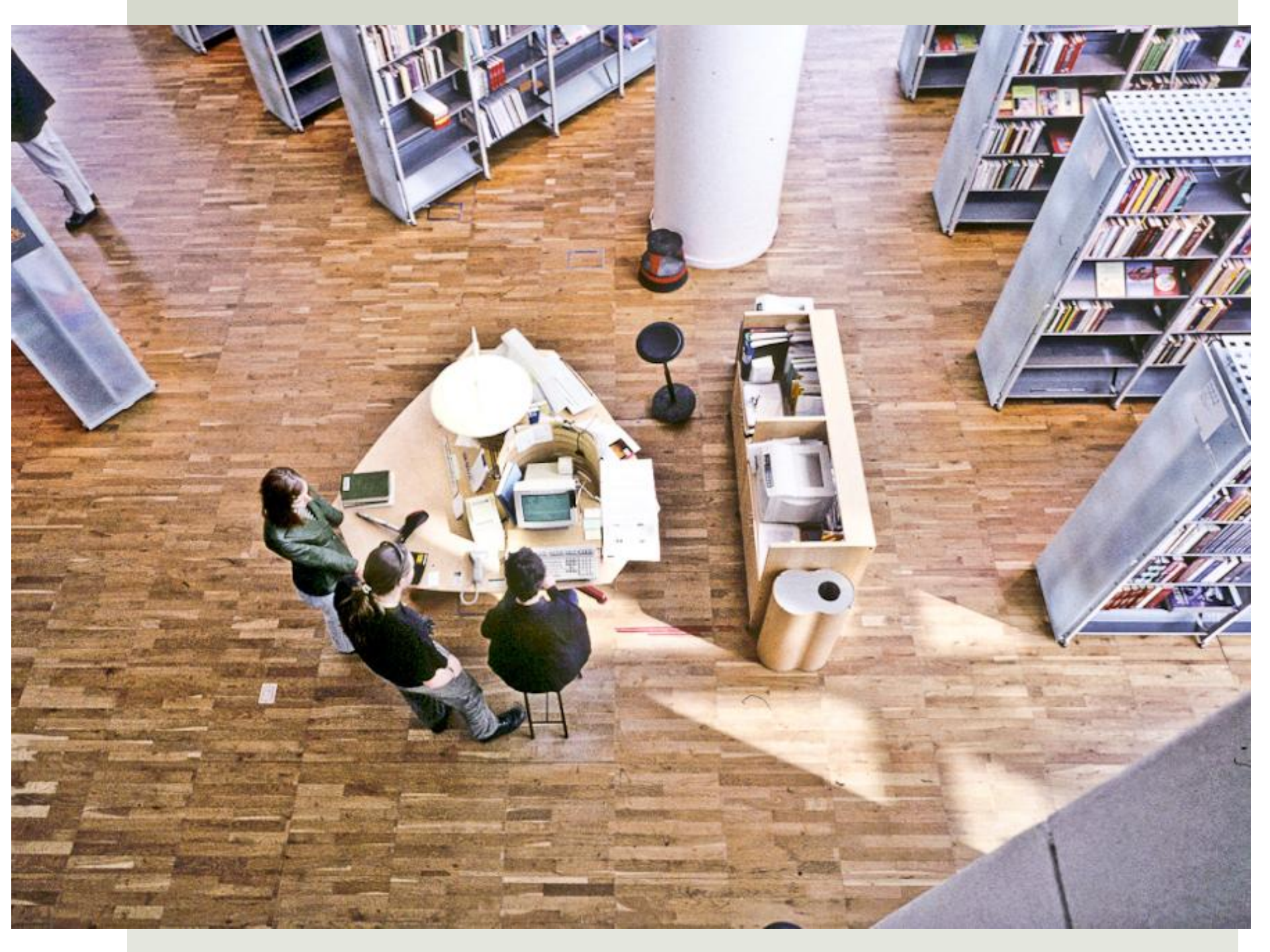
- 能力の高い職員
- レファレンスサービスの充実
- 資料がきちんと管理されている







インフォメーションポイント













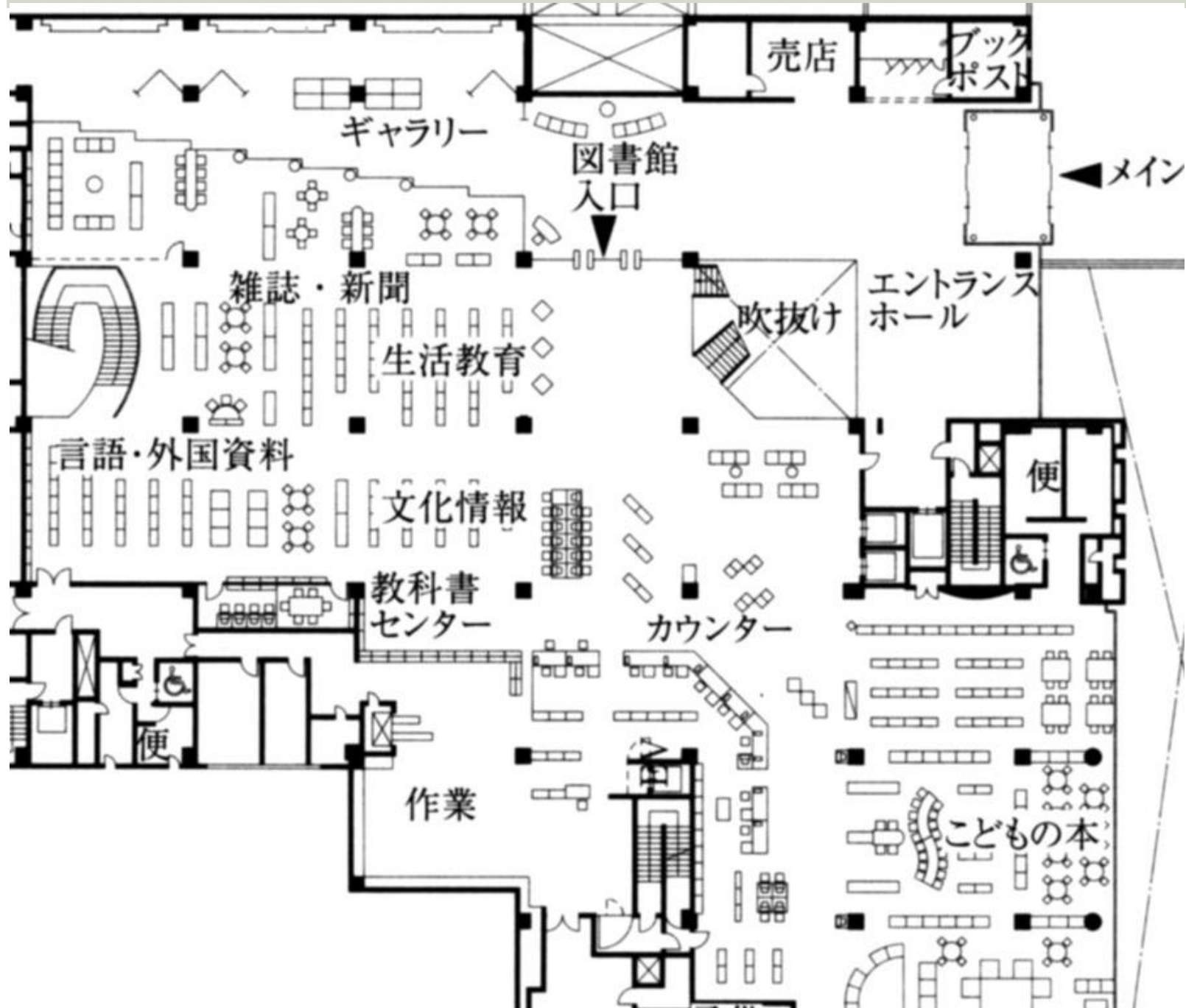


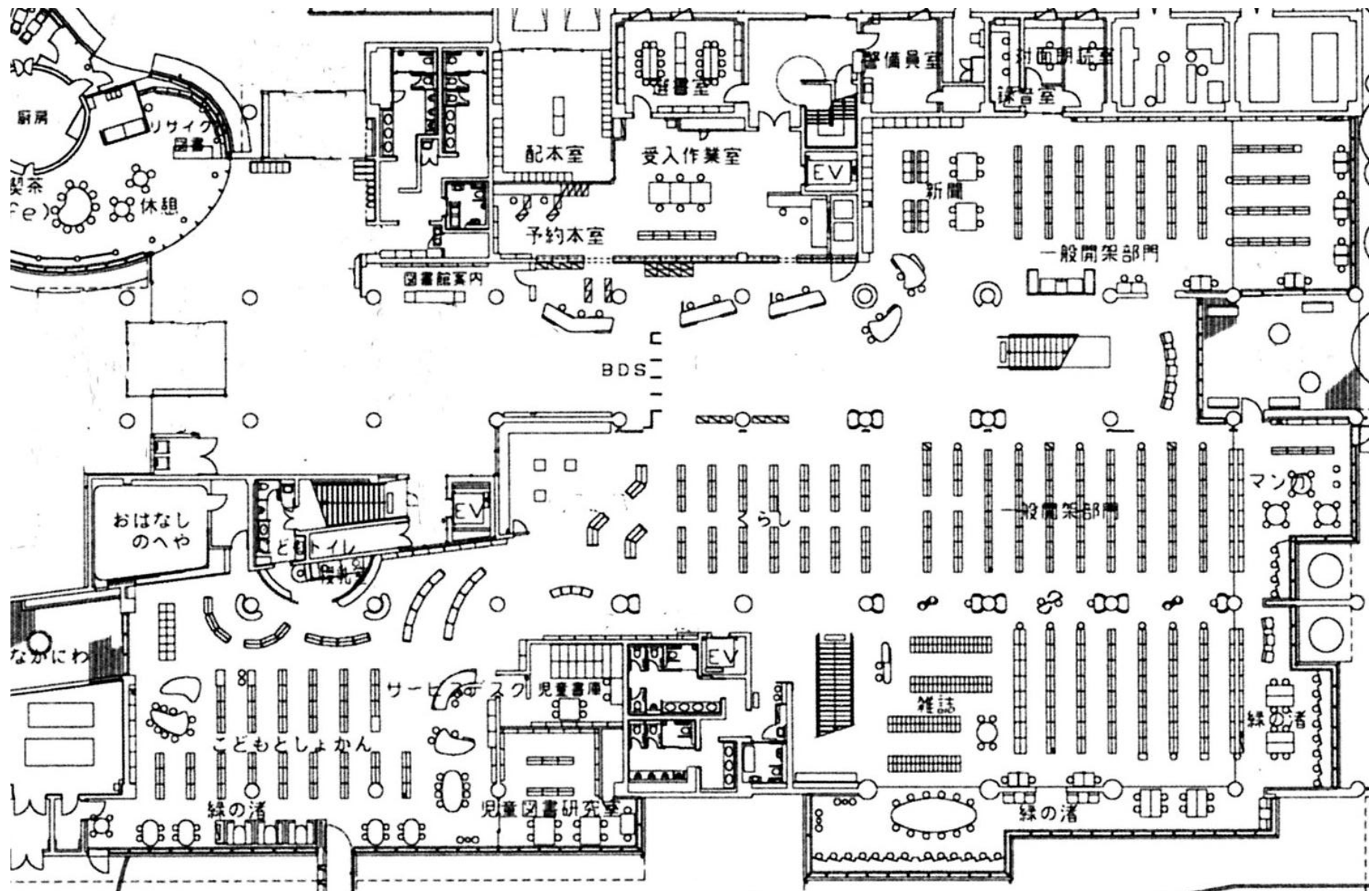
不正な持出し防止装置（ゲート）  
アラームへの対応が大切

マナーアップキャンペーン

市民共有の財産が消えた  
本

資料は貸出処理を受けてから、館外にお持ちください  
仙台市図書館







# 自動化・機械化・セルフサービス化

- 定型的な反復作業、肉体労働を減らすことで、職員を専門的サービスに集中させる



能力の高い職員・質の高いサービス

- 自動貸出
- 自動返却・仕分け機
- 自動書庫
- その他



自動貸出：必要な人に手厚いサービスの提供のために



府中市立図書館









自動返却

# 自動返却機

・本は一冊ずつ入れてください。  
・紙芝居・CD・DVD・ビデオ・大型本は  
返却カウンターへお返しください。

・本は一冊ずつ入れてください。  
・紙芝居・CD・DVD・ビデオ・大型本は  
返却カウンターへお返しください。



HYPOON ILMING



# 自動返却機

本は一冊ずつ入れてください。  
紙芝居・CD・DVD・ビデオ  
返却カウンターへ

本は一冊ずつ入れてください。  
紙芝居・CD・DVD・ビデオ・大型本は  
返却カウンターへお返しくささい。





自動仕分け



広大な書庫からの取出作業は重労働  
利用者は待ち時間が長い



機械には適した労働環境



搬送設備







自動書庫







# 快適な職場環境

- 日本の図書館建築において残された課題の一つ = 職員のための環境の充実（質・量）
- スタッフラウンジ 他







# 行きたくなる図書館



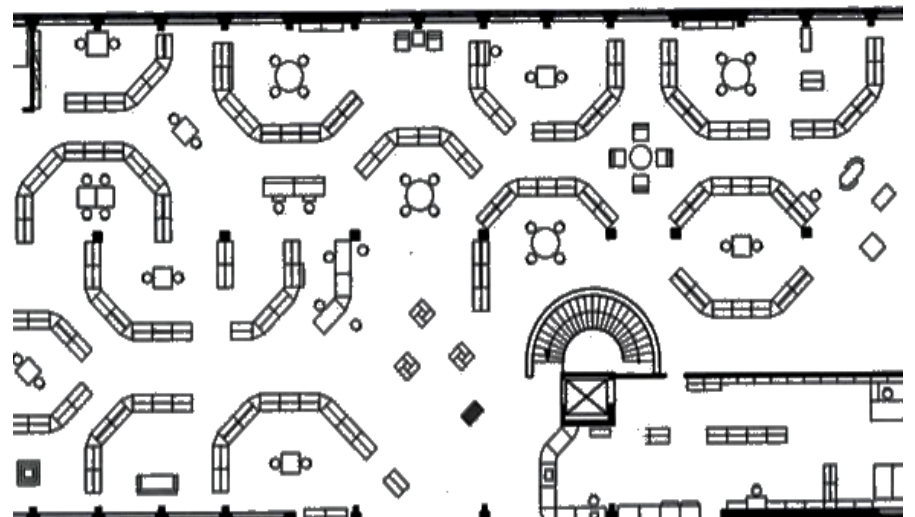
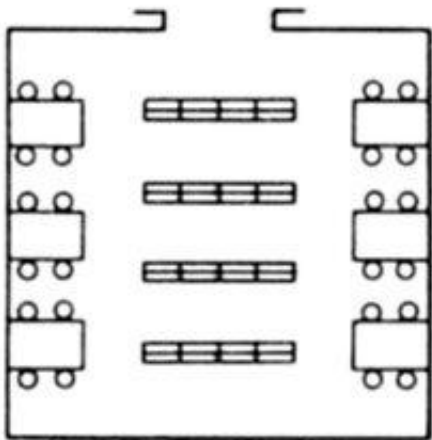
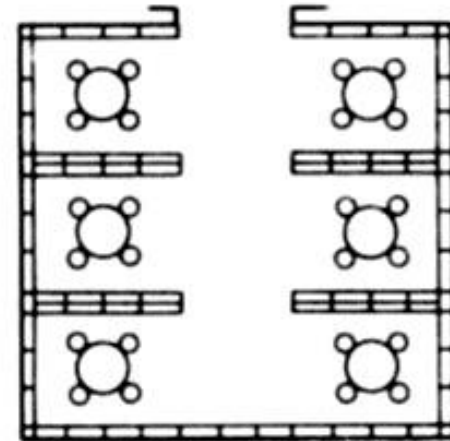
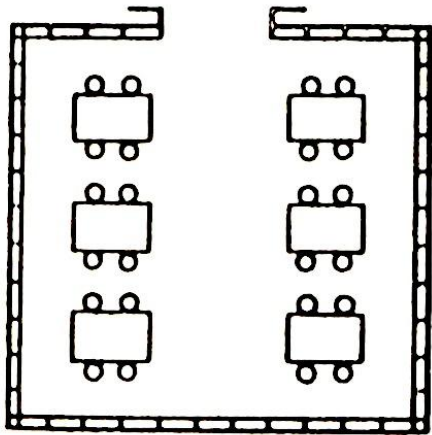
居心地の良い館内：暖炉のある雑誌コーナー





光庭（自然の樹木、雑誌・新聞）

# 書架配列の工夫





33

6

34

35

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

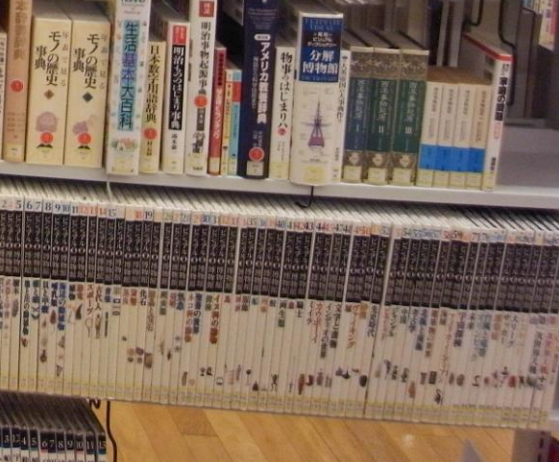
17

18

19

36

500 ~ 519 520 ~ 529  
技術 技術  
環境 建築



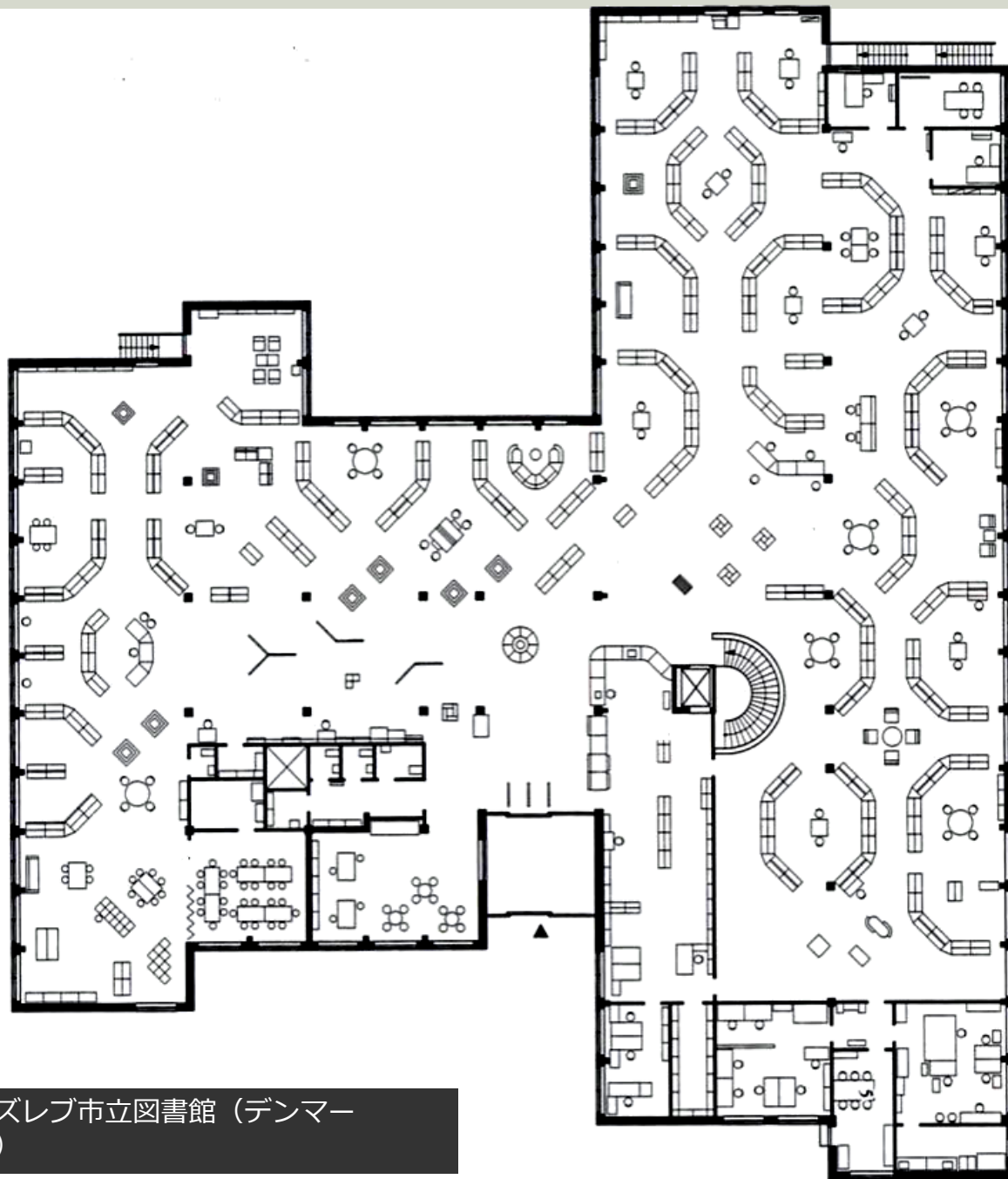












ハズレブ市立図書館（デンマーク）





囲いの内側



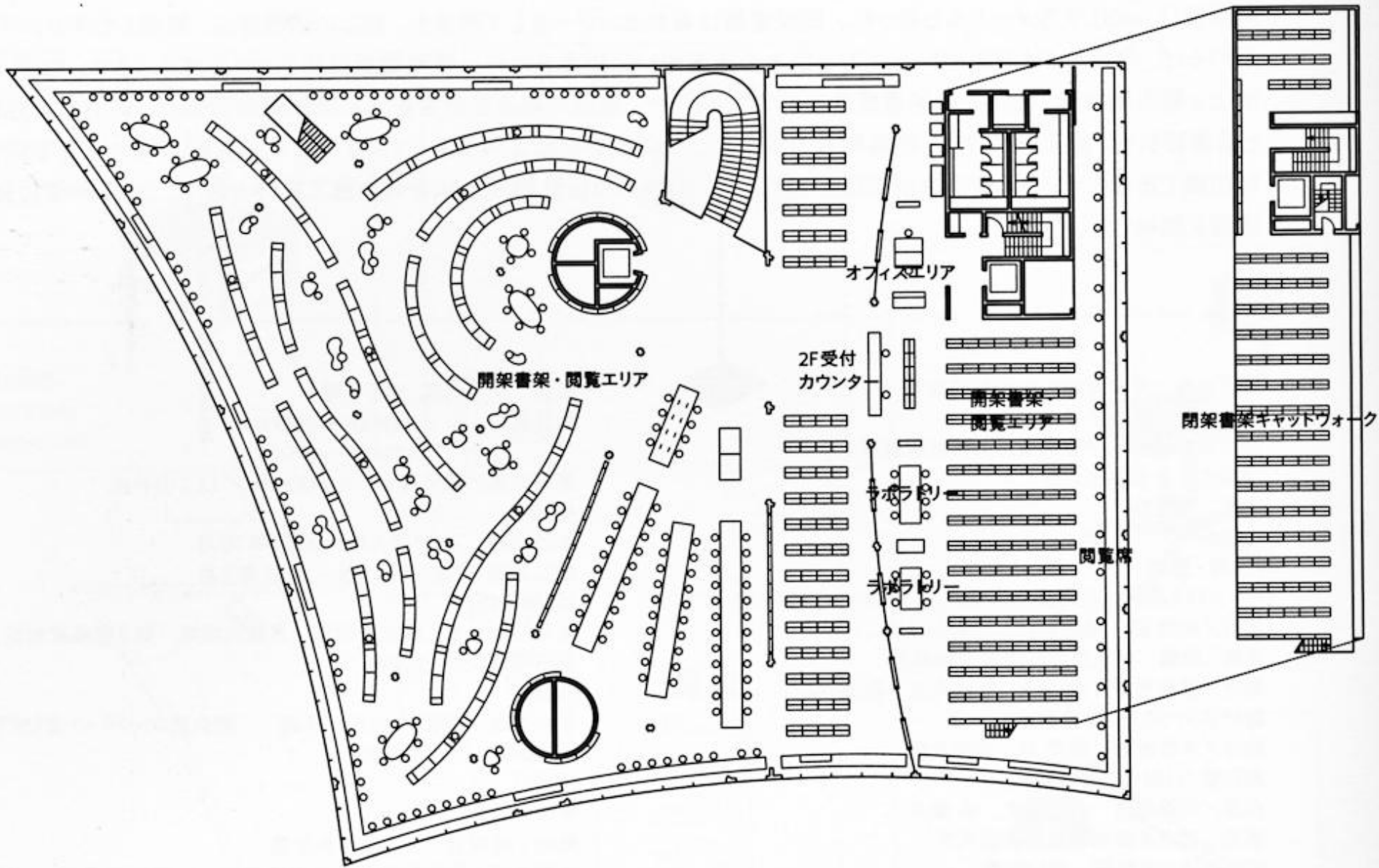
120度配列の例





Naar buiten

Adromen



多摩美術大学図書館：2007年 伊東豊雄設計











# セキュリティ

## □ 書架の耐震

安全対策上、書架を床に固定するので、書架の移動、レイアウト変更は簡単にはできない

## □ 火災対策

## □ 人と人のセキュリティ





コンクリートの床に打ち込んだアンカーボルトに固定



33

地理・地誌・紀行

|              |             |
|--------------|-------------|
| R 参考図書       | 参考図書        |
| 280 人名辞典     | 2) 地理・地誌・紀行 |
| 288 系譜・家史    | 3) 社会科学     |
| 290 地理・地誌・紀行 |             |

34



基本地理  
世界有雑地

ATLAS OF JAPAN  
日本心象地図  
日本心象地図  
日本心象地図  
日本心象地図  
日本心象地図

頭つなぎ







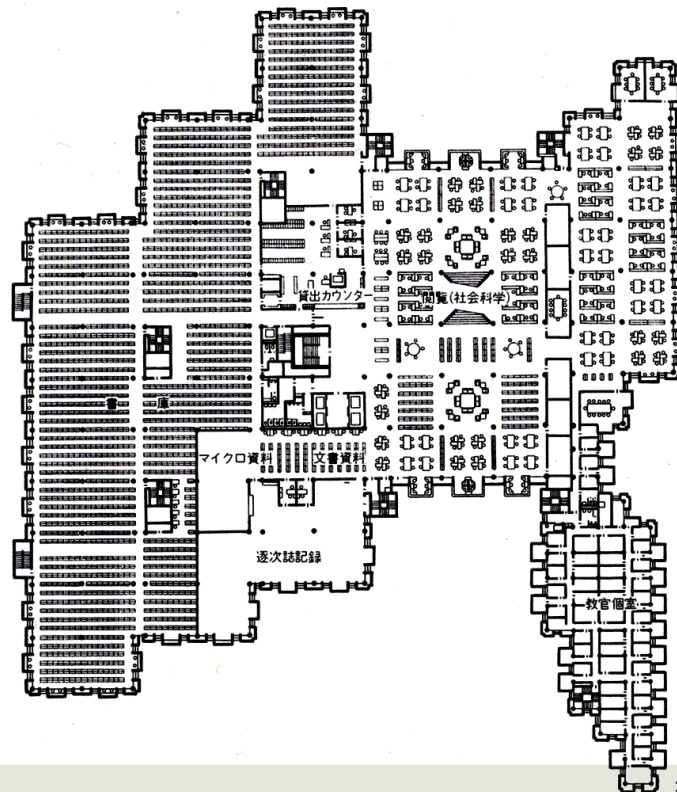


## セキュリティに配慮したサイン 早稲田大学中央図書館

- ・ 青地は出口方向
- ・ 赤字は奥に向かう方向



◇利用者に入庫を許すことは危険  
であるとの認識の共有化が必要



シカゴ大学ヨゼフ・レーゲンシュタイン図書館  
広大な書庫（開架式で24時間利用者が入る）



防犯対策



# 实例

# 新潟市立中央図書館ほんぽーと

□ 開館：2007年10月

□ 設計：岡田新一設計事務所

□ 延床面積：9,132m<sup>2</sup>

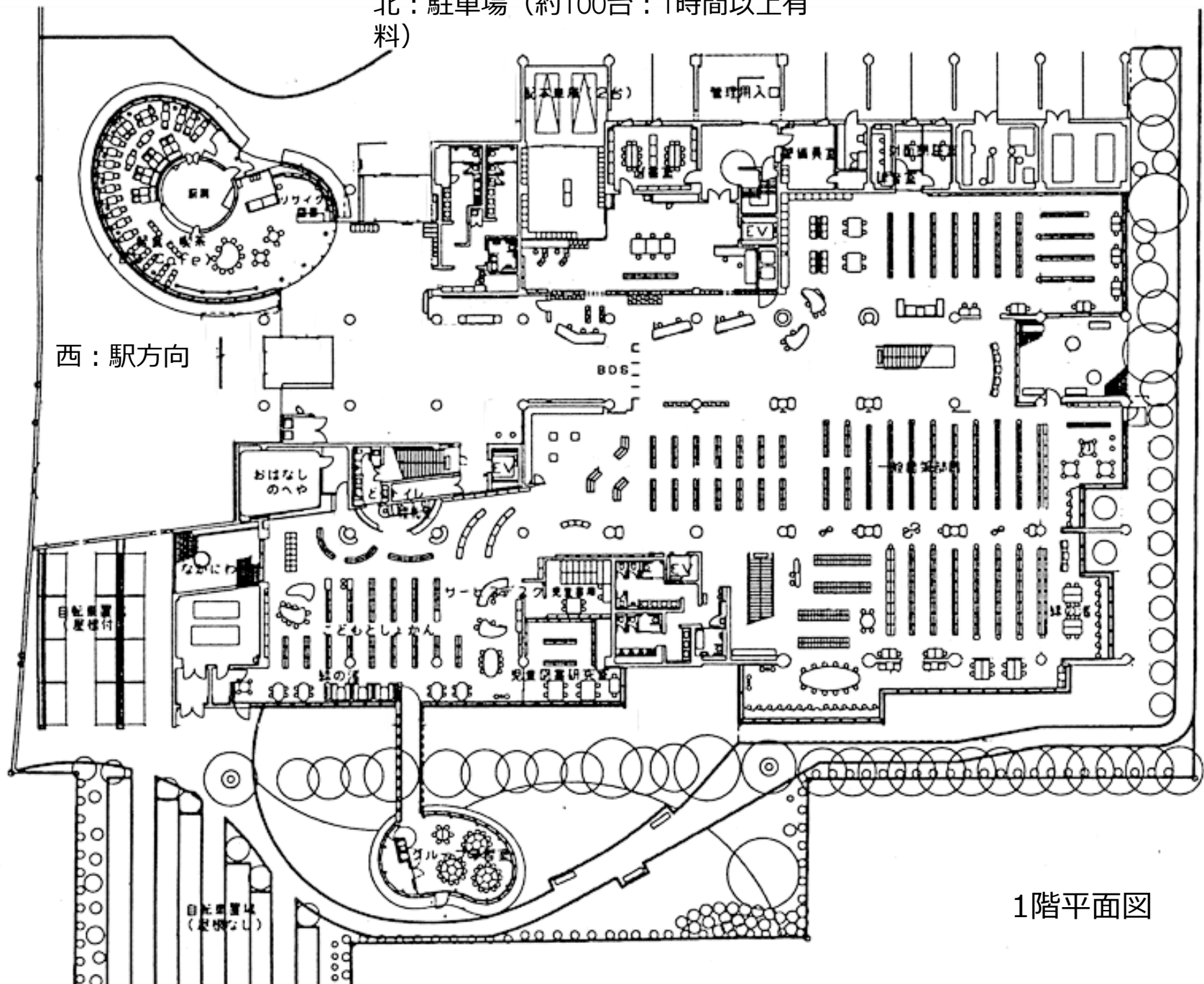
□ 蔵書収容能力

開架：一般：29.5万冊、児童：4万冊

閉架：45万冊（自動書庫）

□ 新聞：100紙、雑誌1,000種

北：駐車場（約100台：1時間以上有料）



西：駅方向

1階平面図









Beans  
Bakery  
Cafe  
Open 12:00-20:00  
Last order 19:30

BB CAFE

ジュラト  
◆シングル... 300円  
◆ダブル... 380円

月曜 休  
自家焙煎コーヒー  
ホット20%オフ  
・アイスティー (700円) 2杯  
・アイスウォール茶  
・本日のスープ  
※ご注文の少ない日曜日は  
ご注文できません

パワ  
←

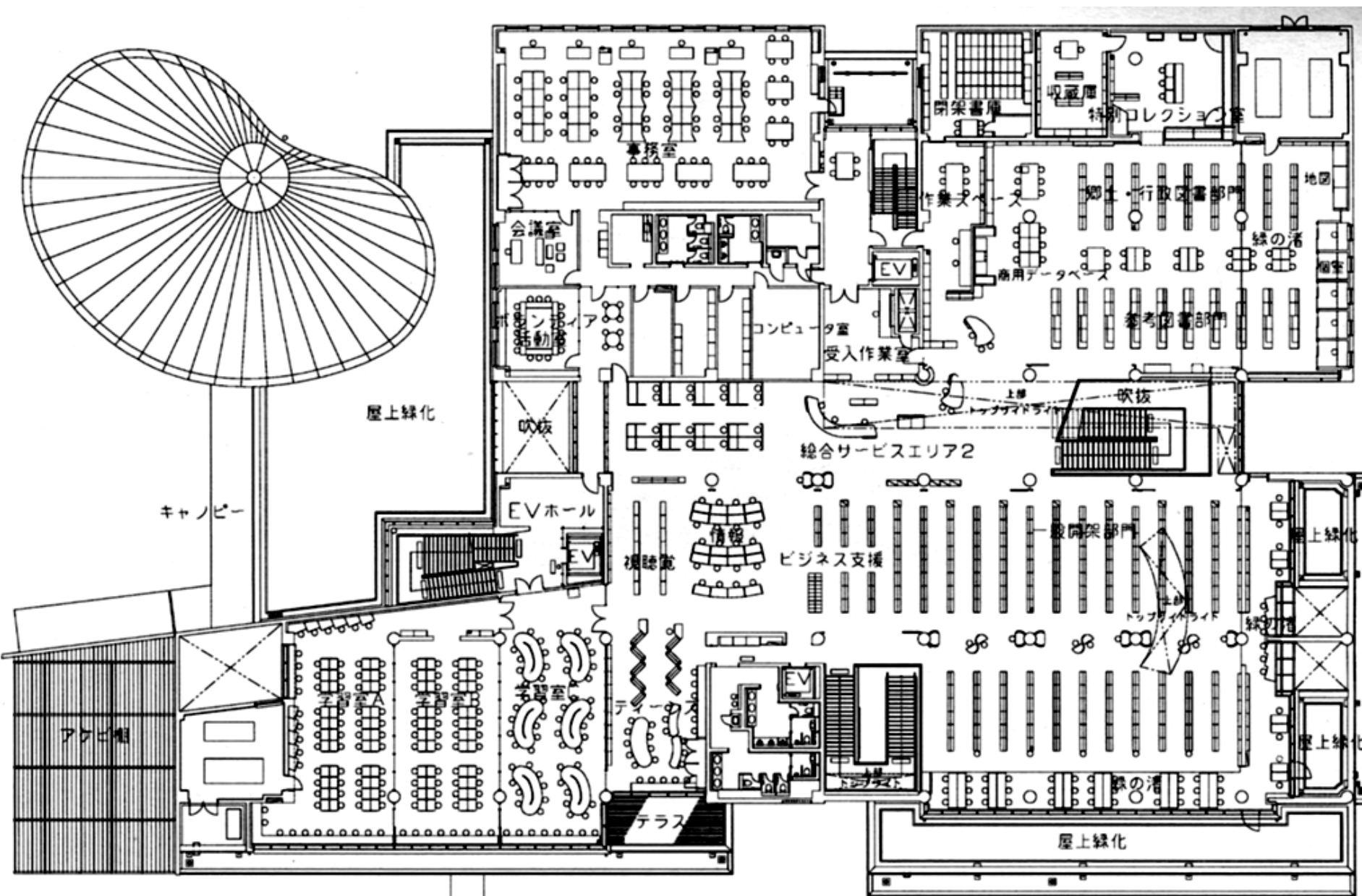
パワ  
シューズ











2階平面図









B1-B6

B4

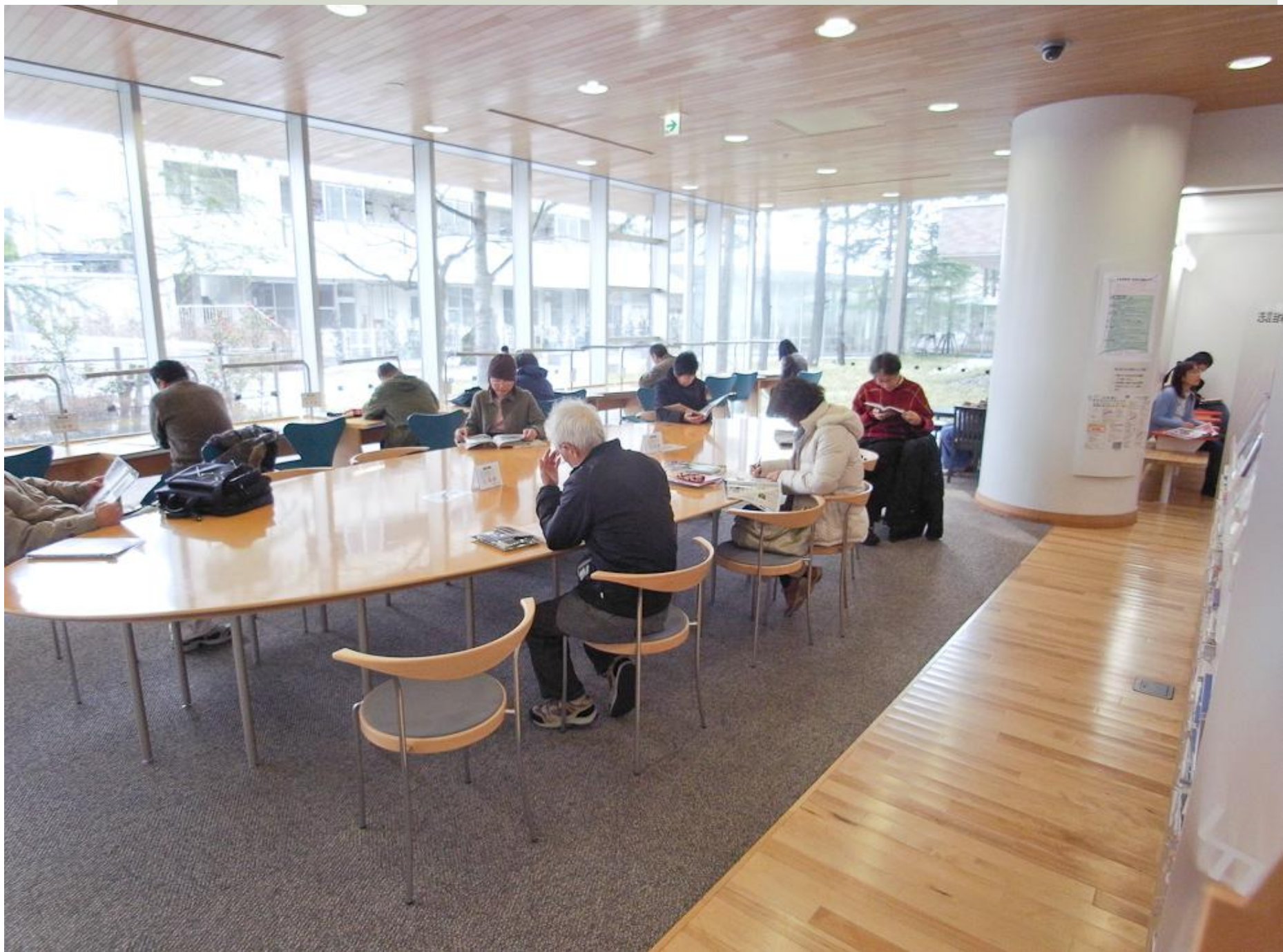
B25

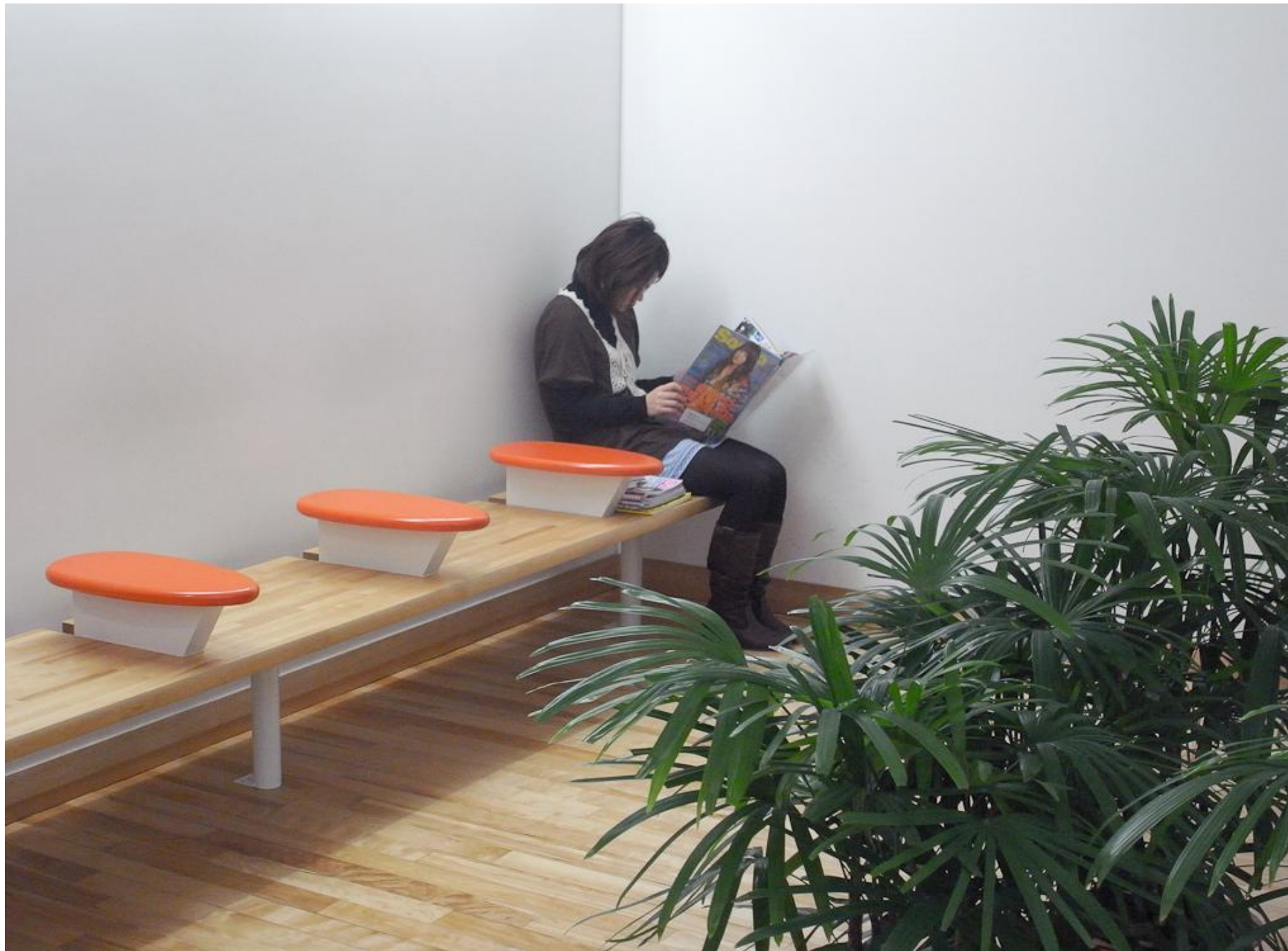
B24

B23-B28







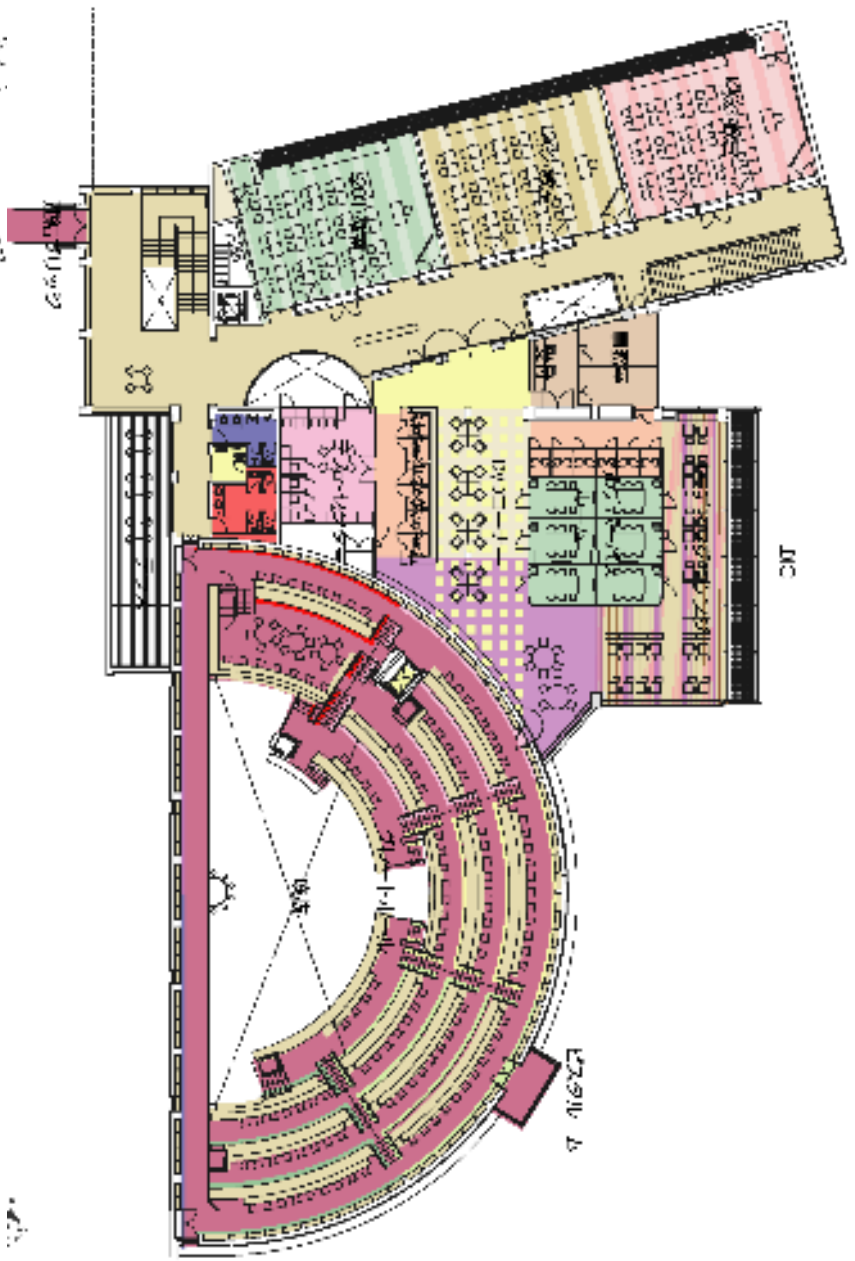
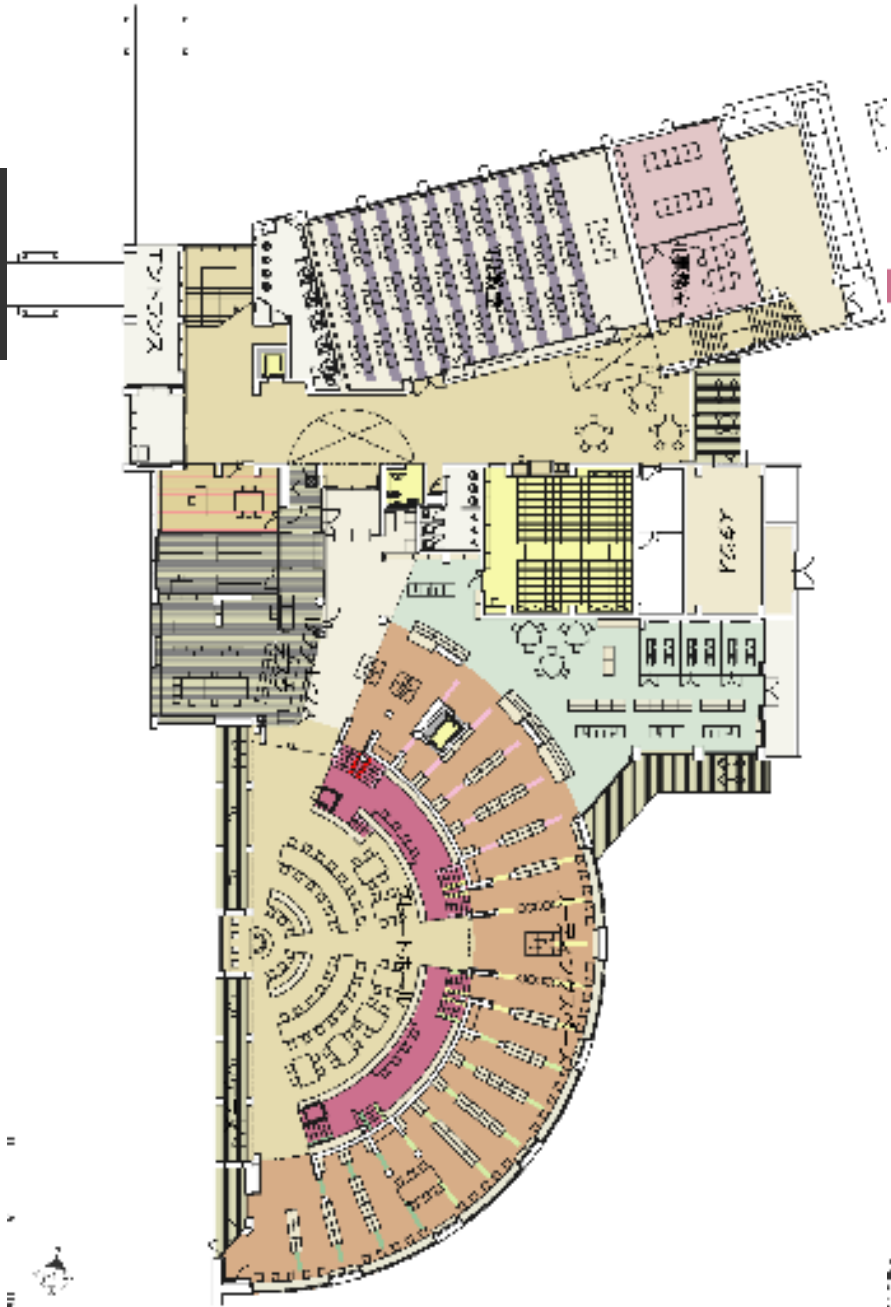






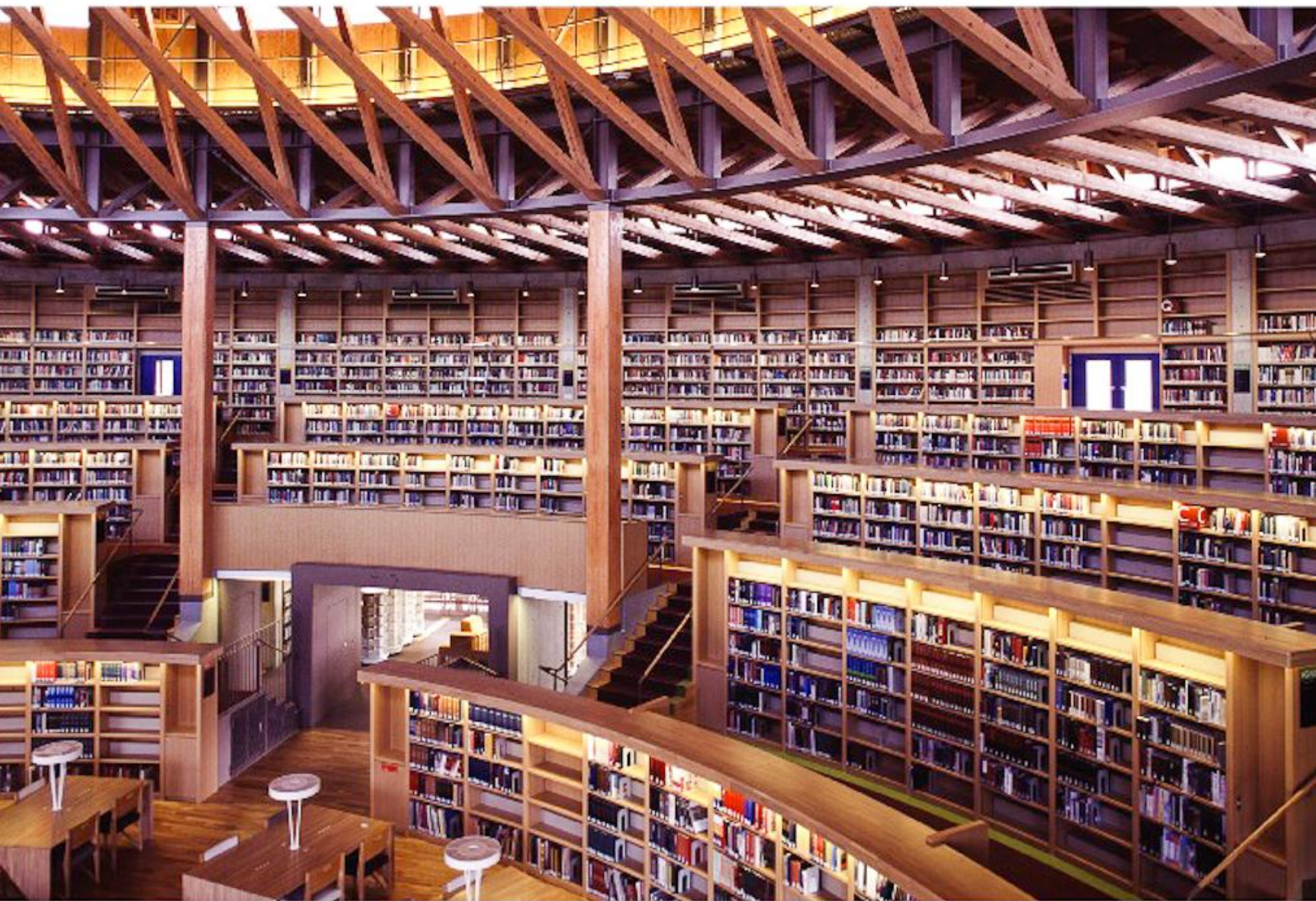
# 国際教養大学図書館（秋田）

- 設計：仙田 満 + 環境デザイン
- 延床面積：4,054m<sup>2</sup>
- 開 館：2008年4月
- 図書収容力：開架8万冊、閉架5万
- 座席数：300席
- 24時間開館（夜間は警備員の巡回のみ）









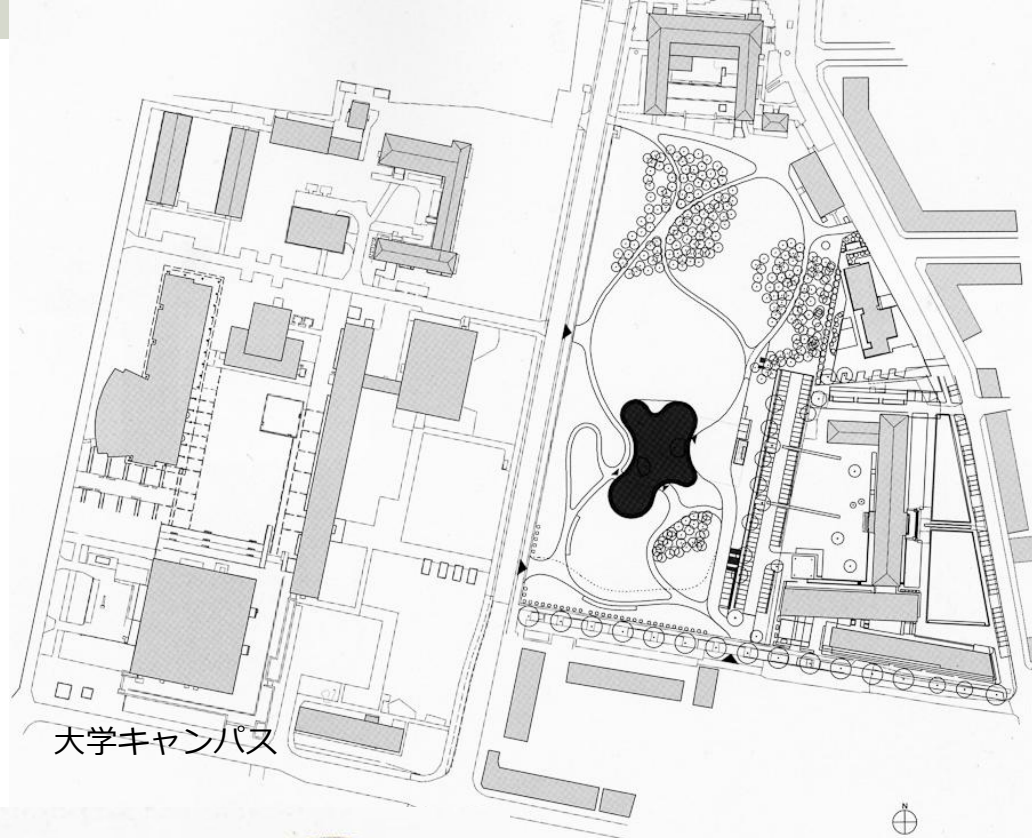


# ブランデンブルク大学コトブス校図書館

- 旧東ドイツ、1991年創設（教員130人、学生6,400人、4学科）
- 住宅地と大学キャンパスの境界に目立つ建物
- 開館：2005年
- Information Communication Media-Center
- 設計者：Herzog & De Meuron
- 延べ床面積：7,630m<sup>2</sup>（地下1階、地上7階）
- 蔵書収容力：開架：45万冊、閉架：35万冊、722席







大学キャンパス

市街地方向

